

## 世界に目を向ける

校長 大岩 厚

1月16、17日に、初めてとなる大学入学共通テストが実施され、本校の生徒も活水女子大学で受験しました。昨年までの大学入試センター試験と比較すると、問題量が多く、解答に際して文章や資料を読み解く力が要求されていることがよくわかりました。大学個別入試に臨む皆さん、どうかベストを尽くしてください。教職員全員で応援し支えます。

同日、大阪市では全日本卓球選手権が行われていました。男子シングルスで初優勝した及川瑞基選手(23歳)は、4カ国語を話し、現在ドイツを中心に活動しているとのこと。優勝インタビューで、「将来は海外で活躍したい。」と世界に目を向けた目標を語っていました。

海外で活躍する。世界で活躍する。そういうとなかなか簡単なことではないように思えます。しかし、私達の身近な活動が世界に通じていることもあるのです。

例えば、平和学習部が行っている1月に発効された国連の核兵器禁止条約への賛同を表明する活動などは、世界を変える最初の一步に繋がると言えるでしょう。

また、YWCAを中心に取り組んでいる「チャイルド・ファンド・ジャパン」のスポンサーシップ・プログラムも、学費の捻出が難しいアジアの子ども達が教育を受けられるよう、直接的に支援をする活動です。

あるいは、2月に年平均月額約3倍が売れるといわれるチョコレート。私達がバレンタインデーの前に安価で購入できるのは、原料のカカオ栽培に、現地の貧しい子ども達が児童労働者として働いている事が理由の一つと言われています。もし、消費者である私達が、正規の対価を支払って購入すれば、現地ではカカオ栽培が仕事として成り立ちます。このしくみを、『フェアトレード』といいます。生産者が適正で安定した収入を得られれば、子どもを働きに出さなくてもよくなり、子ども達が教育を受け、未来を切り開いていくことが可能になります。『フェアトレード』のチョコレートを選ぶことは、世界の誰かの幸せに繋がっているのです。

聖書では「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。(ヤコブの手紙1:22)」と教えられていますが、たとえ小さな事でも、世界に目を向けてこの教えを実践している皆さんは、世界で活躍する一人になっていると思います。誰かが、ではなく、私達が、だと思えます。

## 初めての共通テスト

1月16日、17日の両日、31年続いた大学入試センター試験に代わり初めての大学入学共通テストが行われました。移行にあたっては、記述式問題や英語の民間試験の成績を入試に利用する新たな仕組みを設ける予定でしたが、今回はいずれも見送りとなりました。生徒たちは、ただでさえ新しい方式のテストに挑まなければならない上に、はっきりしない方針に悩む日々が続きました。さらに混乱に拍車をかけたのが新型コロナウイルスの流行でした。高校2年生の春先から休校を余儀なくされ、受験に向かう体制も初めてのものとなりました。

今回の大学入学共通テストでのセンター試験からの変更点は以下のものが挙げられます。

1. 思考力・判断力・表現力を活用して解く問題が出題される
2. 英語の出題形式、配点の変化
3. 数学、理科の出題形式の変化

特に1の問題に関しては、平成29・30年度に実施された試行調査(プレテスト)において多くの生徒が戸惑いました。それは、学校での探究学習や実験を題材にした問題、複数の資料を読み取らなければならない問題、会話形式の問題文が多くみられたからです。今回の共通テストでも数学ⅠAの問題では、陸上競技のタイムについて考察する問題のような、学校でも実際に考えられる場面のものや会話形式の問題も出題されました。解答時間が10分増えたこともあり単純に比較することはできませんが、数学ⅠAの問題は31ページに及びなど(昨年度センター試験は23ページ)共通テストでは文章量、資料ともに増え、これまでより正しく速く読む必要があると改めて思いました。



共通テスト直前の様子

今回、実際に受験をした生徒の感想によると、「リスニングのために、日頃から英語を耳にする機会を作ることが必要。問題を1回しか聞けないものもあるので、その練習は重要だと思った。」「知識の習得だけでなく、それを活用することが重要だった。」「センター試験の過去問や教科書で習った通りに問われる問題は少なかった。」など、やはりセンター試験から試験内容が大きく変更されたことを感じさせるものがあったです。これから共通テストを受験する生徒は知識の習得はもちろんのこと、論理的に本質的な理解をすることが重要になると思えます。(法澤成典)

## 春を探しに



24 (水)	23 (火)	17 (水)	16 (火)	15 (月)	13 (土)	12 (金)	11 (木)	6 (土)	2月行事予定
中学全学年学年末考査 (2月26日)	高校1・2学年学年末考査 (3月1日)	天皇誕生日	学年末考査時間割発表	高校卒業式	高校卒業礼拝(高校午後力ツ)	中学新入生オリエンテーション	高校Ⅲ年ワックスかけ	同窓会入会式	高校Ⅱ年模擬試験(7日)
							看護医療模擬試験		
							建国記念の日		



## 今月の聖句

「あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。」 詩編 119:105

「あなたの御言葉」というのは、聖書に書かれている神様の言葉のことです。神様の言葉が私の道の光であり、私の歩みを照らす灯と書いてあります。どういことでしょうか。聖書では、よく人生を道にたとえられます。私たちの人生には、長い道のりがあります。その一步一步を歩く時、「神様が一緒にいて明るく照らしてくれるよ」という意味です。長い人生のうち、今いる場所から次にどこに向かって行ったらいいかわからなくなる時、先が見えない不安に押しつぶされそうになります。しかし、先が見えていなくても、一步を踏み出す時、必ず共にいてその足元を明るく照らしてくださる神様がいます。分かっているなら、安心して歩めます。新型コロナウイルスによって先が見えないこともまだまだ多くあります。しかし、一步、一步、今精一杯できることをして、神様と共に歩いていきましょう。

(濱口末希)



## 中学で恒例の百人一首大会



1月21日（木）、新春恒例の百人一首大会を、今年はリモートで各クラスをつなぎ実施しました。鈴田先生の風流な歌詠みに合わせて、自分が覚えている札がいつ読まれるか心待ちにしながら、かるた取りを楽しみました。

各学年の一位は、1年・林咲奈さん(38枚)、2年・吉村心結さん(44枚)、3年・崔奎喜さん(40枚)でした。3人とも小学生のときに百首覚えた経験があり、この大会に向けて覚え直したら、思っ

ていた以上にたくさん覚えていたそうです。林さんは、「来年は、上の句で取れる札をもっと増やしたいです。」吉村さんは「一首に込められた意味が、恋愛や季節など様々あって好きなのでこれからも覚えます。来年は50枚を超えたいです。」、崔さんは「大会に参加できるのは今年で最後でしたが、最後の年も1位で終われたので嬉しかったです。」と感想を述べていました。3位まで表彰して大会を終わりました。（浦島明子）



左から 林、吉村、崔さん

## 1年生 性教育講演

1月20日（水）高IのLHRは、長崎みなとメディカルセンターの助産師 田中五月先生を講師としてリモートで性教育講演が行われました。田中先生は、妊娠のしくみ、月経、避妊、出産の過程、LGBT、思春期の悩みについてなど、分かりやすくお話ししてくださいました。この講演を通して、自分の命の尊さ、対等な関係、行動に責任を持つなど今後役に立つ学びができました。（濱口未希）

〈生徒の感想〉

- ・卵子の寿命が24時間で、精子の寿命が3～5日で、たくさんある中の1つが私で、私が産まれてきたことはほぼ奇跡に近いことなんだと感じました。辛いこととたくさんあるけど、私が産まれてきたことに感謝したいです。

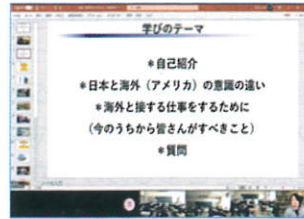
- ・私たちなど若い年で出産してしまうと身体的にも金銭的にも大変だと聞いたので、気をつけたいと思います。交

際は、対等であること、責任をもつこと、この言葉を忘れないで素敵な大人になりたいなと思いました。



## 将来学「海外に接する仕事」

1月13日（水）、伊藤玲阿奈先生（指揮者、ニューヨーク在住）によるオンライン講演会を実施しました。生徒の事前質問にも丁寧に答えていただき、日本とアメリカの教育のそれぞれの長所と短所をご本人の体験



談を通して具体的に教えていただきました。「しなやかな思考をもって、内面を磨いてこそ、英語力のようなテクニックが生きて国内外で活躍できる」という最後のメッセージが印象的でした。（岩永崇史）

〈生徒の感想〉

- ・「相手の良い点を見つけてあら探しをしないことが大切で内面を磨いていってほしい」という言葉に心を打たれました。

- ・相手の長所を見つけて、口に出すことはとてもステキだと思いました。



生徒感想への伊藤先生回答

## 高校家庭科で魚調理実習

1月19日（火）、長崎魚市場協会の方々のご協力のもと「魚調理講習会」に高校Ⅲ年生フードデザイン選択者20名が参加しました。まず栄養士さんによる魚のお話があり、次に鮮魚店の吉田先生を講師にお迎えし、新鮮な鰯とイカのおろし方の実演と指導をしていただきました。ほとんどの生徒が初めての経験で、思うように包丁が入らず悪戦苦闘していましたが、「鰯の3枚おろしは骨にたくさん身がついてしまった。」「上手にさばくことで可食部を増やせるのでもっと上達したいです。」「魚にはDHAやEPAが含まれているので脳の活性化のためにもたくさん食べたいです。」「季節に



よって旬の魚を楽しみたいです。」「鰯のだしでとったお味噌汁は最高においしかった。」「などの感想が寄せられました。（五貫俊子）



### 〈音楽関係〉

シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA

全国大会 高校生部門 奨励賞 原口真子

Pia-Conピアノコンクール長崎Ⅲ予選

ロマン派部門 高校生以下の部

最優秀賞 原口真子

九州新聞社ピアノコンクール

佐賀・長崎地区予選

高校生コース グランプリ 原口真子

最優秀賞 田崎夏鈴

九州国際バッハ音楽コンクール

第5部門 1位 原口真子

4位 石川奈那美

JBA長崎県ソロコンテスト

金賞 大山汀紗・片岡花音・藤原桜希

銀賞 川西芭奈

## Ⅲ年生による修了演奏会

1月23日（土）、音楽コースⅢ年生10名による修了演奏会が本校チャペルにて行われました。今回は、新型コロナウイルスの影響を受け、残念ながら無観客での実施となりました。Ⅲ年生にとって最後の演奏会で、それぞれが3年間での学びの成果を出すことができました。演奏会最後の挨拶は全員で行い、「この状況下で演奏会を開いてくださったこと、また先生方のご指導や保護者の支えに感謝します。進む道は違いますが、この経験を糧として、次の道に歩みを進めていきたいと思えます」と述べました。

会場では、各自が演奏する曲についてまとめたレポートや総合音楽における編曲の作品も展示されました。Ⅲ年生の良い集大成を披露する場となりました。（涼松育子）



### 〈高校バスケットボール部〉

長崎県高等学校新人体育大会

バスケットボール競技 ベスト16

### 〈卓球部〉

全九州卓球選手権大会長崎県予選会

一般の部

ベスト16 小田綺音

ベスト32 森芙蓉・谷川美月・榎史奈・

田島一華・富永蘭・山口れいら

（以上7名は、3月行われる九州大会に県代表として参加）

### 〈図書委員会〉

長崎県高等学校文化連盟特別表彰

長崎県ライブラリーフェスティバル県大会

図書館広報紙コンクール最優秀賞連続5回による